学校番号	410

令和３年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説　世界史Ｂ」　（山川出版社）						
副教材等	詳説　世界史図録　（山川出版社） 世界史用語集　全国歴史教育研究協議会編（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会の変化や時代の発展について考察・理解を深める。
・歴史を背景とした世界諸国の事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・人類が直面する課題を、政治・経済・文化・生活など多様な視点から、世界史の成立より歴史的に考察し、その解決法を発見していく能力を養う。
・異文化の多様性に立脚する世界史の多様性にかんがみ、基本的事項を精選して指導内容を構成する。
・諸地域世界の交流、国際関係の展開の視点にも考慮しながら、世界史の中に日本を位置づけつつ、生徒の国際感覚を涵養する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代から近代前期を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	古代から近代前期を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	古代から近代前期を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエントと地中海世界	・先史時代 ・古代オリエント文明 ・ギリシア文明 ・ローマ文明 ・キリスト教の成立	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 西アジア、エジプトの古代文明、ギリシア・ローマ文明、キリスト教成立に対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: 理性を根本におくギリシア思想とキリスト教について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある年表や原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査
	アジア・アメリカの古代文明	・インド・東南アジアの古代文明 ・中国の古代文明 ・アメリカ古代文明 ・内陸アジア世界 ・東アジア文明圏	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: インド、東南アジア、中国、アメリカ大陸の地理的状況を踏まえつつ、その地域の歴史に対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b:アジア・アメリカについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査

	イスラーム・ヨーロッパ世界・内陸アジア・東アジア世界の発展	・イスラーム世界の形成と発展 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 ・ヨーロッパ世界の成立 ・西ヨーロッパ中世世界と文化	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a: イスラーム教の成立とその拡大、ヘレニズムとヘブライズムの影響下のヨーロッパ世界の成立に対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: イスラームの拡大とヨーロッパ世界の内的発展から課題を見出し、各地域の形成の歴史的経過と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査
	内陸・東アジア世界の展開　アジア諸地域の繁栄	・内陸アジアのトルコ化とイスラーム化 ・モンゴルの大帝国 ・東アジア世界の動向 ・清代の中国と周辺地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・ムガル帝国と東南アジア	○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a: トルコ民族、モンゴル民族の拡大、イスラーム世界の拡大に対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: イスラームの拡大とインド、東アジアの発展から課題を見出し、各地域の形成の歴史的経過と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査

2学期	近代ヨーロッパ世界の形成	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家体制とイタリア戦争 ・オランダの独立とイギリスの海外進出 ・フランスの宗教内乱と絶対王政 ・17 世紀の危機と三十年戦争	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: ヨーロッパ世界の拡大（世界の一体化の進行）に対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: ルネサンスと宗教改革がヨーロッパ世界の内面的発展であることから課題を見出し、各地域の形成の歴史的経過と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査
	近世ヨーロッパ世界の展開	・重商主義政策・イギリス革命 ・イギリス議会政治の確立 ・プロイセンとオーストリア ・ロシアとポーランド ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18 世紀の文化と社会	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 近代国家の原型となった主権国家体制の特色と，体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を追究する。 b: 17～18 世紀のヨーロッパ諸国の活発な経済活動と植民地争奪戦争を，重商主義と関連付けて考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査

	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命の勃発 ・フランス革命の激化と終了 ・ナポレオンの時代	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a：産業革命の世界史的背景，技術革新や交通革命の進展と波及について追究し，アメリカ独立革命とフランス革命の影響を理解する。 b：資本主義体制の確立と社会の変容について，社会問題・労働問題と関連付けて考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c：資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d：基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査
	近代国民国家の発展	・ウィーン体制の成立と動揺 ・イギリスの自由主義的改革 ・ギリシア独立と東方問題 ・1848 年革命 ・クリミア戦争とロシアの改革 ・イギリスの発展・フランス第三共和制 ・イタリアの統一・ドイツの統一 ・北ヨーロッパ諸国・国際的諸運動の発展 ・南北アメリカの発展 ・19 世紀後半のアメリカ合衆国 ・19 世紀欧米の文化	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：ウィーン体制の成立と自由主義，ナショナリズムに対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b：ウィーン体制の特色とその崩壊過程，社会主義思想の成立と普及から課題を見出し、各地域の形成の歴史的経過と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c：資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d：基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査

3学期	アジア諸地域の動揺	・オスマン帝国支配の動揺と西アジアの変容 ・南アジアの植民地化 ・東南アジアの植民地化 ・アヘン戦争・アロー戦争 ・太平天国・明治維新・朝鮮	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a: 西アジアにおけるオスマン帝国支配，アジアの植民地化，ヨーロッパの干渉に関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: アヘン・アロー両戦争，太平天国の動乱で清朝の支配が大きく動揺し，近代化への取り組みが始まったことを課題とし、各地域の形成の歴史的経過と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査
	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義とイギリスフランスの国情 ・帝国主義とドイツ・ロシア ・アメリカの帝国主義,第二インターナショナル ・アフリカの植民地化 ・太平洋,ラテンアメリカ,国際対立 ・中国の分割の危機,日露対立と列強 ・日本の韓国併合,辛亥革命 ・南アジア・東南アジア・西アジアの民族移動	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 帝国主義と列強によるアジア・アフリカの植民地化に関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: 欧米列強が植民地獲得や勢力圏拡大の競争を繰り広げた結果，列強の二極分化が進み，第一次世界大戦に繋がる危機が高まっていったことから課題を見出し、各地域の形成の歴史的経過と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査

	二つの世界大戦	・第一次世界大戦 ・ロシア革命 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・国際協調,1920 年代の英・仏・独 ・イタリア・東欧・バルカン諸国 ・ソ連・アメリカ合衆国 ・中国の民族運動,日本の動向 ・国民党と共産党の対立 ・インド・東南アジアの民族運動 ・西アジア・アフリカの民族運動 ・世界恐慌と米・英・仏の対策 ・日本の中国侵略と抵抗 ・ナチスドイツ,ソ連,スペイン内戦 ・第二次世界大戦	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし，20 世紀の変動の起点となったことに対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: 第一次世界大戦の原因や性格について，これまでの戦争との違いを多角的に考察し，文章にまとめる。 ・社会主義国家の誕生という，ロシア革命の世界史的な意義と影響について，多角的に考察し、各地域の形成の歴史的経過と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査
	冷戦と第三世界	・国際連合と敗戦国の処理 ・冷戦の開始と戦後のヨーロッパ諸国 ・戦後のアジア諸国 ・朝鮮戦争と軍備拡大,アメリカの繁栄 ・西欧・日本の経済復興,雪解けと平和共存政策 ・第三世界・アフリカ・ラテンアメリカ諸国 ・米ソの動揺とヨーロッパでの緊張緩和 ・アジア諸国の動揺 ・石油危機と世界経済の再編	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 第二次世界大戦後，米ソを中心とした冷戦体制が成立し，東西両陣営に世界が分裂したことを理解し対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: 親ソ政権樹立による東欧諸国の社会主義化とアメリカ合衆国の経済援助や「対ソ封じ込め」政策を比較しながら考察し、生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現

c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。